

令和6年度第1回大磯町地域公共交通会議 会議録

- 日時 : 令和6年6月25日(火) 午前10時00分～12時00分
場所 : 大磯町役場本庁舎4階第1会議室
出席者 : 15名 [鈴木会長、橋山委員、小堤委員、秋山委員、吉岡委員、露木委員、野田委員、小泉委員、黒川委員、服部委員、守屋委員、菊田委員(代理)、戸澤委員(代理)、八島委員、村上委員(代理)]
欠席者 : 1名 [井上委員]
傍聴人 : 4名
資料 : 資料1-1 : 乗合タクシー令和5年度実績報告
資料1-2 : 生活交通確保維持改善計画(案)
資料2 : 富士見地補助路線バス令和5年度実績
資料3 : 現在取組みを検討している事項
参考資料 : 大磯町地域公共交通計画 概要版

1 開 会

2 議 題

西小磯東区の一部地域における乗合タクシーについて

事務局から資料1-1、1-2について説明

○質疑(資料1-1について)

【委員】

資料1-1 スライド10 「R4・R5の乗合実績比較」について、
令和5年度で乗合便数や乗合者数がかなり増えているが、その要因は何か。

【事務局】

運行の委託をしている伊豆箱根交通株式会社が、同じ時間帯に予約された方々を乗せ合えるよう、効率的なルート設定で運行したことが要因だと考えられる。

【委員】

資料 1-1 スライド 9 「R4・R5 の利用実績比較」について、
令和 5 年度の登録者数が 323 人となっているが、地域ごとの分布はどの様になっているか。

【事務局】

全体の登録者数では、北側の赤坂台の方の登録が多く、南側の方の登録は少ない。
近年新しく登録される方は、南側の方が多い状況。

【会長】

資料 1-1 スライド 3 「乗合タクシーマップ」について、
乗降場所の再検討に当たり、地区からの要望などは出ているか。

【事務局】

乗降場所 1 から 7 番にかけて、距離が離れており、勾配の急なエリアになっているため、乗降場所を追加して欲しいという要望、意見がある。

○質疑（資料 1-2 について）

【委員】

補助金の補助率はどのくらいか。

【事務局】

例年町の歳出が 100 万円程度に対し、国からの補助金は 40 万円程度。

【委員】

事業を継続していくのであれば、実績を伸ばしていく必要があると思う。

利用実績の偏りに合わせて乗降場所を設定していくだけではなく、利用の少ない地域の方に対して、どのように利用促進を行っていくのか、目標を立てて考えていく必要があるのではないか。

【事務局】

大磯町地域公共交通計画において、事業 2 として記載しており、フィーダー系統としても位置付けをしている。乗降場所の追加や廃止、乗合の促進策、料金体系、土日の運行について、利用する皆さんの意見を聞きながら検討し、利用や乗合を促進していきたい。

【議 長】

議題については、資料1-2の「生活交通確保維持改善計画」に係り、(案)のとおり承認してよろしいか。

【一 同】

了承

3 報 告

1 富士見地区の補助路線バスについて

事務局から資料2について説明

○質疑（資料2について）

【委 員】

資料2 スライド4 「富士見地区補助路線バス 利用実績 (R1～R5)」について、運行便数の計算が1日13便の計算だが、令和3年度にスライド5の運行ダイヤとなり、1日12便になっている。令和3年度以降の「運行便数」及び「1便当たりの平均利用者数」の訂正が必要。

【事務局】

令和3年度のダイヤ改正にて、平塚市民病院行きを運行することとなり、1日の運行便数が12便となったが、スライド5のNo.2(1)7:35～8:20 二宮駅～大磯駅とNo.2(2)8:20～8:36 大磯駅～市民病院行きを2便として計算し、スライド4の実績では、当初から1日13便の計算としていた。

資料を1日12便とした数値に訂正。

修正後の数値

【R3】 運行便数：2,904 便 1便当たりの平均利用者数：6.3人

【R4】 運行便数：2,916 便 1便当たりの平均利用者数：6.7人

【R5】 運行便数：2,916 便 1便当たりの平均利用者数：6.7人

【委員】

資料2 スライド5 「路線別利用状況（R5年間実績）」について、便によって乗客数のバラつきが多いが、効率性を考えると、この運行ダイヤが正しいのか。また、この運行ダイヤは、地域の意見等を反映したものとなっているか。

【事務局】

現在の運行ダイヤを決める際には、地区から児童の登下校を優先するように要望を受けており、第一優先としている。その他の時間については、乗務員が一人で一日運行しているので、休憩時間などを考慮し、大磯駅と二宮駅をなるべく往復する運行ダイヤとなっている。

地域の方に100%あった運行ダイヤとなっていないところもあるかもしれないが、児童の登下校を優先して運行ダイヤを決めている。

【委員】

昨年も地域に来て意見を聞いていただき、様々な意見が出ていた。乗車数が少ないから減便するというような簡単なことではなく、現行の運行ダイヤありきではない、地域の意見を反映したものとして欲しい。

【委員】

先ほどの説明で、1人で運行しているということだが、どの時間で休憩を取っているのか。また、運行が遅れた場合には、どの様にしているのか。

【委員】

令和6年4月にダイヤ改正を行い、現在は1日15時間以内での運行となっており、令和5年度は1日15時間40分程の運行となっていた。

運行は基本遅れることが無いように運行しており、乗務員の休憩は、8:36の運行後と16:40の運行後に分割して取っている。

【委員】

バスの乗務員は、朝通勤される方を乗せて、帰りも帰宅される同じ方を乗せる。乗る人は分からないかもしれないが、乗務員は厳しい労働環境での運行となっているものと思われる。

乗車される方が安心して乗車できるよう、運行が遅れてしまった場合の対策等も考えながら、乗務員の労働環境にも気を配っていただきたい。

2 地域公共交通に関する令和6年度の取組みについて

事務局から資料3及び参考資料について説明

○質疑（資料3について）

【委員】

事業1「補助路線バスの課題検討」について、
昨年も富士見地区へ来ていただき、意見交換をさせていただいた。引き続きそのような場を設けていただき、交通の検討を進めて欲しい。

【事務局】

現行の補助路線バスは、乗務員不足などで運行継続することが厳しい現状にある。補助路線バスの運行を継続していくのか、デマンド型に移行していくのか、地域の方との意見交換の場を引き続き設けながら、富士見地区をはじめとした交通のあり方を検討していきたい。

【委員】

事業7「運転免許自主返納のための支援」について、
タクシー利用券、バス利用券をいくら助成しても、乗務員不足で運行できないと意味がないので、乗務員確保に向けた事業者への支援を町として行っていく必要があると思う。

【委員】

事業3「路線バスの維持及び利用促進」について、
7月に紙幣が新札に替わるに当たり、料金箱を変えるのにバス1台当たり約200万円の経費が掛かる。キャッシュレス化が進んでおり、バスも完全キャッシュレス化の方向に進んでいくと考えられるので、周知等していただければと思う。

【委員】

事業3「路線バスの維持及び利用促進」について、
現状、乗務員不足で運行が厳しく、乗務員の時間外労働で補っている状態。4月からの法令改正もあり、ギリギリの状況で運行している。
採用に力を入れているが、離職者も多く状況が厳しい。

今後、需要に見合ったダイヤ改正も含めて検討していかなければならない。その際は、本会議にも御報告させていただく。

【委員】

事業8「①神奈川県版ライドシェアの導入に向けた検討」について、大磯町として、どのような検討を進めていくのか。

【事務局】

具体的な導入の計画はないが、規制緩和の流れの中で県内での試験導入が始まっているので、今後大磯町の中に需要があるのかどうか、大磯町にあった交通になり得るのかを含めて今後検討していく。

3 その他

4 閉会

以 上